

情報オリンピック 通信

No.1
2006年3月31日
情報オリンピック日本委員会

日本情報オリンピック再開!



第5回日本情報オリンピック(JOI)開催



受賞者: 左より 吉里君、萩野君、片岡君、秋葉君、渡部君、今城君、伊藤君、古賀君

日本情報オリンピック(Japanese Olympiad in Informatics: JOI)が再開されました。第5回JOIは1月15日(日)に予選をウェブ上で行い、161名の受験申込者の中から33名(Aランク21名とBランク上位者12名)が本選に進出しました。本選は2月12日(日)に日本科学未来館(東京都江東区)において開催され、参加者はPC上でプログラムをすることにより、3時間で5問の問題に取り組みました。使用言語はC/C++とJavaだけでした。本選参加者の中から次の8名が第18回IOI(International Olympiad in Informatics: 国際情報オリンピック)メキシコ大会日本代表選手候補として選ばれました。



第18回IOIメキシコ大会日本代表選手候補

金賞	秋葉拓哉	麻布高等学校	高2	東京都
銀賞	片岡俊基	高田高等学校	高1	三重県
銅賞	今城健太郎	甲陽学院高等学校	高2	兵庫県
銅賞	渡部正樹	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都

優秀賞	伊藤康人	東海高等学校	高1	愛知県
優秀賞	古賀理	桐朋中学校	中3	東京都
優秀賞	萩野弘也	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都
優秀賞	吉里幸太	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都

(同賞の中での並びは氏名の五十音順、都道府県名は学校所在地)



後列左より: JOI・OB 伊藤さん、文科省基盤政策課長 田中様、富士通(株)経営執行役 車様、JOI・OB 飯嶋さん、守屋理事長

JOI 表彰式

第1回日本情報オリンピックの表彰式は、3月23日午後2時より国立オリンピック記念青少年総合センター小ホールにおいて、情報オリンピック日本委員会役員、御来賓、受賞者の保護者、JOIのOBなど多数の方の御臨席をいただき開催されました。

はじめに、情報オリンピック日本委員会理事長の守屋悦朗・早稲田大学教授からご挨拶と第5回JOIの経過報告があり、続いて司会者の西野哲朗理事・電気通信大学助教授から成績発表が行われました。

次いで、優秀賞4名、銅賞2名、銀賞、金賞の順に壇上に呼ばれ、表彰状が授与されました。金銀銅賞の受賞者には第2回JOI(1995年)の金メダリストの飯嶋浩光さんからメダルが授与され、また、金賞の秋葉拓哉君とその出身校(麻布高等学校、担当教諭 天野崇先生)には第7回国際情報オリンピック・オランダ大会(1995年)の金メダリスト伊藤哲史さんからカップが授与されました。さらに、副賞として富士通(株)からノートPC「FMV BIBLO NB55R-T」が金賞の秋葉君に、金銀銅賞の4名に理事長賞として図書券が、また、全員にUSBフラッシュメモリが贈られました。

受賞者の記念撮影後、文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課課長 田中正朗様より受賞者および関係者一同への力強い励ましのご祝辞をいただきました。続いて、山本慎理事・中央大学教授によりIOIポージング大会の記録映写と説明をしていただきました。

JOI 春の合宿

IOIメキシコ大会日本代表選手候補として本選で選ばれた8名は3月19日から25日までの一週間、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)に招待され、春の合宿に臨みました。この合宿中に行われた4回のテストの成績等を考慮して、第18回IOIメキシコ大会(本年8月開催)日本代表選手4名が選出されました。



合宿4日目の講義(伊藤剛志先生)



合宿最終日

JOI 第18回 IOI メキシコ大会日本代表選手

氏名	学校名	学年	学校所在地
秋葉 拓哉	麻布高等学校	高2	東京都
今城 健太郎	甲陽学院高等学校	高2	兵庫県
片岡 俊基	高田高等学校	高1	三重県
渡部 正樹	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都

(氏名の五十音順、学年は合宿時点)



理事長あいさつ

守屋理事長から以下のご挨拶と経過報告がありました。

本日は、ご多忙のところ、第5回日本情報オリンピックの表彰式にご参列いただき、まことにありがとうございます。特に、文部科学省 基盤政策課の田中課長様、富士通株式会社経営執行役の車様には、ご挨拶あるいは副賞授与のためにご臨席を賜り、まことにありがたく光栄に存じます。また、私ども情報オリンピック日本委員会の各種委員会委員の方々、あるいは、PRや合宿等、あらゆる場面でご支援ご協力を下さった多くの方々、例えば、合宿を手伝ってくださった情報オリンピックやICPC等の兄弟コンテストのOBの方々には心より感謝申し上げます。こういったたくさんの方々のご支援ご協力がなければ今日のこの表彰式を迎えることはできませんでした。

さて、本日は第5回日本情報オリンピックの表彰式です。昨年も一昨年も日本情報オリンピック(JOI)はなかったのに、なぜ第5回なのでしょう？ 実は、1994年～1997年まで計4回にわたり日本情報オリンピックが実施され、IOI へも6名の選手派遣をして金メダル1個、銀メダル2個、銅メダル1個を獲得したのですが、諸般の事情で1998年以降中止しておりました。ところが、今年度から、独立行政法人科学技術振興機構から「国際科学技術コンテスト支援事業」の対象事業としてご支援をいただくことができるようになり、JOIを再開することができましたことを深く感謝しております。私たちは、IOI へ日本代表選手を派遣する事業はもとより、そのような事業を通して、日本のそして世界の情報科学の振興と、日本の現在および将来にとって必要不可欠のITに基盤を置く諸産業の発展を担う若き人材育成に貢献したいと念じて活動しております。関係諸氏の益々のご支援ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

昨年11月・12月のウェブ上での模擬試験を経て、1月15日にウェブ上で予選を実施、2月12日には日本科学未来館でPCを実際に使って試験時間3時間の本選を実施し、成績優秀者8名を選抜して3月19日からここオリンピックセンターにおいて合宿研修を行っております。今日はその8名の成績優秀者の表彰式です。この8名の中から4名が8月にメキシコで行われる第18回IOIへ派遣される日本代表選手として選ばれます。メキシコへ行くにせよ、そうでないにせよ、情報系の分野に進むにせよ他の分野に進むにせよ、JOIに参加した生徒諸君が日本の将来を担う、世界へ翔たく人となってくれることを期待しています。



金賞の秋葉君と天野先生

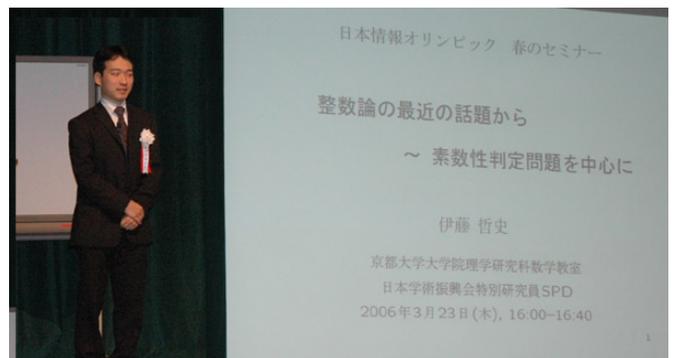


記念講演

表彰式につづいて3時から、東京大学の今井浩教授とJOIのOBの伊藤哲史さん(京都大学)に講演をしていただきました。今井先生は『量子コンピュータのもたらす21世紀の情報処理』と題して、現在のコンピュータとはまったく違う原理の、量子力学にもとづくコンピュータの開発の進展やそれがもたらす未来社会について話をいただきました。また、伊藤さんは『整数論の最近の話題から ～ 素数性判定問題を中心に』と題して、自然数が素数かどうかを判定する問題と暗号理論の深い関係等についてやさしく解説していただくとともに、IOIに参加した経験にもとづき情報オリンピックへの取り組み方について合宿参加生徒たちに楽しく語っていただきました。



今井浩先生(東京大学)



伊藤哲史先生(京都大学)

JOI 第5回 JOI 予選と本選

第5回日本情報オリンピックの予選は、1月15日(日)にウェブ上で3時間の試験が実施されました。つづいて本選は、2月12日(日)12:30 から3時間、日本科学未来館(東京都江東区)に、予選の成績優秀者33名を集めて行われました。受験者全員が同じPCを使って、5問の問題を3時間で解くために、プログラムを作って競いました。その結果、成績優秀者8名が合宿へ招待されました。



JOI 文部科学省「学びんピック」

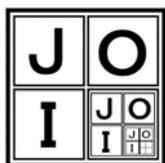
日本情報オリンピック(JOI)は文部科学省の「学びんピック認定大会」に認定されました。 <http://manabinpick.mext.go.jp/index2.asp>



JOI 第6回日本情報オリンピック開催予定

第19回国際情報オリンピックは2007年夏にクロアチアで開催される予定です。日本代表選手候補を選抜する第6回日本情報オリンピックは以下のように開催される予定です。本選の成績上位者にはメダルと副賞が授与され、本選の成績優秀者(A ランク約10名)は春の合宿に招待されて選手選抜テストに参加できます。また、成績優秀者には下記のような大学入試に関する特典があります。奮って応募してください。

- 応募資格** : 2007年のIOI開催時点で高等学校またはそれ以下の学校(高専の場合は高校の相当学年)の在学生在で満20歳未満の者。
- 模擬試験** : 2006年11月(日時未定)に、ウェブ上で受験することができる模擬試験があります。
- 予選** : 2006年12月下旬頃に開催します。ウェブ上で申し込みができ、在宅受験ができます。
- 本選** : 2007年2月12日(日)に、ウェブ上または東京会場で実施します。東京会場で実施の場合、遠方の受験生には規定に従って旅費を支給します。予選の成績優秀者(A ランク約30名)だけが参加できます。
- 試験内容** : 与えられた問題を解くために、プログラムを書き、実行して正しい答を出力させます。高校生レベルまでの数学とプログラミングの知識が必要です。予選ではプログラミング言語の種類を問いませんが、本選ではC/C++とJavaだけが使えます。
- 受験料** : 無料です。
- 申込方法** : 2006年5月以降に情報オリンピック日本委員会のウェブサイト <http://www.ioi-jp.org/> で受付を開始します。予選実施の1時間前まで受付します。
- 結果発表** : 各試験実施後、本人に電子メールで通知します。
- 特典** : 本選の成績優秀者には以下の特典があります(2007年度入学者から)。
- (1) 早稲田大学理工学部 特選入試受験資格 … 本選 A ランク者
 - (2) 慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 AO 入試1次選考免除 … 本選 A ランク者



情報オリンピック通信

No.1 2006年3月31日発行

編集・発行

(NPO 法人)情報オリンピック日本委員会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 7-26-37-2D
TEL: 03-5272-9794 (FAX: 03-5272-9791)
E-mail: info@ioi-jp.org
<http://www.ioi-jp.org/>